

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 06 05	中期総合計画主要施策番号		3-03	担当課	部・課	社会部こども・家庭福祉課	
事業名		諏訪湖健康学園移転改築事業					内線	2354	
							E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・昭和42年1月に開所した諏訪湖健康学園を、信大附属病院の隣接地である松本市旭へ移転改築することにより、施設の老朽・狭隘状態を解消する。 信大病院との連携により専門施設としての治療機能の強化を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・現在の施設の老朽・狭隘状態は全国の同種施設と比較しても著しい状態にある。 ・現在の施設では増加傾向にある情緒障害児等に十分な医学的ケア、心理治療、生活指導が行なわれていない。、 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・築40年を経過するまで、施設の増改築、修繕などが行われなかった。 ・病院専門部門との連携の不足、児童精神科医師の不在、専門性の高い職員の不足している。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・施設の老朽・狭隘状態の解消による児童の居住環境の向上と、治療部門、学校部門のハード面の充実を図る必要がある。 ・信大附属病院との連携により、施設の治療機能の強化と専門科医師による診察機会の充実を図る必要がある。							
		・移転改築に向けた地質調査、地籍測量、工事設計を行う。(23年4月の移転開所に向けて、21・22年度に新施設の建築工事を行う。) ・移転を契機とした運営体制変更(指定管理者制度導入)、治療機能強化のための職員体制を検討する。							
		実施期間	H20 ~ H22	根拠法令等	児童福祉法、児童福祉施設最低基準				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
・情短施設の老朽化、狭隘状態を解消し、専門施設としての治療施設の強化を図る。		・地質調査、地籍測量、工事設計を完了させる。 ・運営体制変更、治療機能強化のための職員体制を検討する。			・地質調査、地籍測量を実施し、工事設計も完了した。 ・「諏訪湖健康学園移転改築・運営準備会」で検討し移転改築・運営体制変更に向けた叩き台を作成した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円		32,023	128,775	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円		32,023		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		32,023	103,923	歳出節別内訳等	・役務費:67 ・委託料:31,956	
	概 算 人件費	従事する職員数	人		1.00	1.00	(単位: 千円)		
	概算人件費 (C)		千円		7,149	7,149			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円		39,172	135,924				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	諏訪湖健康学園移転改築・運営準備会の開催回数		回	5	9	4	地質調査、地籍測量、工事設計を実施した。		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・施設の老朽・狭隘状態の解消による児童の居住環境の向上と、治療部門、学校部門の充実を図る必要がある。 ・信大附属病院との連携により、施設の治療機能の強化と専門科医師による診察機会の充実を図る必要がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・児童の居住環境の向上や治療機能等の充実を図るため、新たな情緒障害児短期治療施設の23年4月開設に向け施設整備を2か年で進める。 ・あわせて、指定管理者制度の導入に向けた検討を進める。						